

平成27年度
くまもと若手芸術家海外チャレンジ事業
募集案内
～追加募集～



©2010 熊本県くまモン

平成27年6月
熊 本 県

問い合わせ先

熊本県 企画振興部 地域・文化振興局 文化企画・世界遺産推進課

〒862-8570 熊本市中央区水前寺6丁目18番地1号

TEL 096-333-2154 FAX 096-381-9829

提出書類様式については、熊本県庁ホームページでダウンロードできます。

<http://www.pref.kumamoto.jp/>

I 募集について

1. 趣 旨

本事業は、官民出資による世界チャレンジ支援基金を活用して芸術家を目指す学生や若手芸術家の海外航空費を支援することにより、海外での実践的な研修等に従事する機会を提供し、若者の海外チャレンジ意欲の向上を図るとともに本県の将来の文化芸術の振興を担う人材を育成することを目的とします。

2. 募集枠、募集期間等

- 募 集 枠 / 5人程度（予算の範囲内）
 - 募 集 期 間 / 平成27年6月8日（月）～7月31日（金）〔申請者→県〕
 - 内示通知時期 / 平成27年8月20日頃〔県→申請者〕
- ※応募状況により、追加募集を行うことがあります。

3. 研修等可能期間

平成27年9月1日（火） ～ 平成28年3月25日（水）

4. 対象となる研修等

（1）本制度の対象となる研修等

- ア 海外芸術研修（海外の芸術団体や学校等により実施される芸術研修、芸術レッスン等）
- イ 海外芸術コンクール（海外の著名な芸術コンクール、芸術コンテスト等）

（2）「芸術」の分野

美術、音楽、舞踊、演劇、舞台美術、映画、メディア芸術等

※本事業の趣旨に該当すると審査委員会が認めるもの

5. 対象者の要件

補助対象者は、芸術家を目指す学生や若手芸術家で、次に掲げる要件のすべてに該当する者としてします。

- （1）平成27年4月1日時点で15歳以上30歳未満であること。
- （2）本縣市町村の住民基本台帳に登録され現に居住すること、又は本県に本籍を有し過去に10年以上居住したことがあること。
- （3）専門とする芸術分野で一定の活動歴があり、将来性が見込まれ、当該分野に係る学校又は団体の推薦があること。
- （4）外国での研修に堪えうる語学力を有すること。
- （5）研修等の受入先が確保されていることが証明できること。
- （6）保護者の同意があること。（高校生又は18歳以下の方のみ）
- （7）研修等の開始時には義務教育を修了していること。
- （8）研修等が、平成27年9月1日から平成28年3月25日までの間に実施されるものであること。

【注意】

- ・原則として、他の機関が実施する類似制度や留学制度（文化庁新進芸術家海外派遣制度、熊本県芸術文化振興会助成事業等）との併用はできません。奨学金等との併用は可能です。
- ・学校等に在籍又は会社等に勤務している場合は、所属先とよく協議の上、応募して下さい。

6. 補助内容

- ・補助対象経費は、熊本（県外にお住まいの場合は、現在居住する住所）と研修等を行う場所（以下「研修地」という）とを結ぶエコノミークラスの実費往復航空運賃とします。
※研修地は1ヵ所を原則とします。特別の事情により、研修地が2ヶ所以上になる場合、研修地間の移動旅費は補助しません。
- ・補助金額は、対象者1人につき30万円を上限とします。
- ・補助金の交付は、原則として、帰国後、実績報告書提出後です。（事前に請求があれば、往復航空費の見積額の1/2を限度として交付することができます。）
- ・研修等可能期間前に出国する場合は、補助の対象となりません。
- ・研修等可能期間後に帰国する場合は、往路のみが補助の対象となります。但し、実績報告書を年度内に提出する必要があります。
- ・県からの内示日より前に航空運賃を支払っている場合は、補助の対象となりません。ただし、特段の事情があると認められる場合はこの限りではありません。

7. 応募方法

下記の提出書類一覧のとおり、申込書及び添付書類等を、県庁文化企画・世界遺産推進課へ郵送又は直接提出してください。

【提出書類一覧】

提出書類	様式
くまもと若手芸術家海外チャレンジ事業申込書	第1号様式
研修等計画書	別添様式①
推薦書（本人の芸術活動を証明できる学校や団体によるもの）	別添様式②
誓約書	別添様式③
住民票の写し又は戸籍の附表等	
受入先の承諾書等受入を証する書類及び日本語訳文	任意様式
往復航空費の見積書	任意様式
その他、参考となる資料 ※申請者の活動状況が分かる写真、映像、音源等を添付してください。	任意様式

※不明な点は、表紙の問い合わせ先（文化企画・世界遺産推進課）までご連絡下さい。

8. 審査日程

- (1) 審査会 平成27年8月17日頃
- (2) 審査結果の通知（内示） 平成27年8月20日頃
 - ・結果は申請者全員に連絡します。

II 留意事項

1. 研修等計画書（申込書別添様式①）について

- (1) 研修等計画書の記載内容について交付決定後に変更する場合は、承認を受ける必要があります。
- (2) 原則として、研修等先での受入が認められていることを条件とします。受入に関し、特別な事情がある場合は書類選考で審査します。
- (3) 研修地は1ヶ所を原則とします。（特段の事情がある場合は、複数の研修地を認める事があります。）
- (4) 研修等は、専門性の高い内容で、現地でのみ従事することが可能なものを対象とします。なお、研修等に従事することにより収入を得る場合は、本制度の対象となりません。
- (5) 研修等期間中は、研修等に専念する義務があります。原則として、他の仕事（雇用契約を結び収入を得るなど）に就くこと、特段のやむを得ない事由以外で一時帰国をすることは認められません。（一時帰国に伴う航空費は自己負担です。）
- (6) 提出した書類については、記載内容に関して照会することがありますので、必ず写しを保管して下さい。

2. 査証（ビザ）について

外国に滞在し、研修する際には、ビザが必要となる場合があります。応募の際には、あらかじめ研修国のビザ取得が可能であることを確認して下さい。なお、国によってはビザ取得にかなりの時間を要する場合がありますので、手続きは早めに行って下さい。

3. 実績報告書について

研修等期間終了（帰国）後30日を経過した日又は平成28年3月31日のいずれか早い日までに実績報告書を熊本県に提出しなければなりません。

【添付書類】

- 研修等実施報告書
- 受入先の証明書等研修を修了したこと又はコンクールに出場したことを証する書類および日本語訳文（任意様式）
- パスポートの写し ※航空機利用が分かる箇所
- 航空券領収書
- 研修等の様子がわかる写真等の記録

III 記入上の注意事項

書類の状況も審査対象となります。下記に従って書類を作成し、記入漏れや、不備の無いようご注意下さい。また、提出の際には別記第1号様式にあるチェックリストを活用し、提出書類の最終確認をして下さい。受付後の書類の差し替え、訂正はできません。

なお、提出された書類は添付資料を含め、返却しませんのでご注意下さい。

別記第1号様式 「くまもと若手芸術家海外チャレンジ事業申込書」

【日付】

- ・申込書を提出する日付を記入して下さい。

【住所・氏名】

- ・申請する日現在居住する住所を記入して下さい。
- ・必ず捺印して下さい。

【研修等名】

- ・研修等の名称を端的に記入して下さい。
例) オペラ声楽研修、フランス印象派絵画研修、ブザンソン国際指揮者コンクール

【研修等先】

- ・国名、都市名を記入して下さい。研修先が複数になる場合は、全ての研修先を記入して下さい。

【研修等期間】

- ・出発予定日及び帰国予定日を記入して下さい。
- ・帰国予定日が研修等可能期間以降の場合は往路のみ補助の対象となります。

【交付申請予定額】

- ・熊本(県外にお住まいの場合は現在居住する住所)と研修地のエコノミークラスの実費往復航空運賃で、30万円を上限とします。
例) 往復航空運賃が25万円の場合、補助額は25万円。
往復航空運賃が40万円の場合、補助額は30万円。
- ・内訳は、往路、復路それぞれ、熊本空港～国内〇〇国際空港～外国□□国際空港～研修地(△△空港)など、経路と予定経費を記入して下さい。

【添付書類】

- ・同封の書類について、該当するものにチェックを入れて下さい。

申込書別添様式①「研修等計画書」**【申請者住所連絡先】**

- ・現住所を記入して下さい。住民登録地が現住所と異なる場合は、住民登録地も記入して下さい。

【本籍市町村名】

- ・現住所が熊本県内でない場合のみ記入して下さい。(現住所と同じ場合は記入する必要はありません)

【熊本県内居住歴】

- ・現住所が熊本県外の場合のみ、熊本県内に居住していた期間を記入して下さい。

【生年月日】

- ・該当する年号を○で囲んで下さい。
- ・年齢は平成27年4月1日時点の年齢を記入して下さい。

【学校名・学部(学年)・勤務先・職業・所在・連絡先】

- ・学生の場合は、学校名、学部、学年を記入して下さい。
- ・お勤めの方は、職業、勤務先、所属課名を記入して下さい。
- ・独立して活動している場合は「フリー」と記載して下さい。
- ・学校又は勤務先の連絡先は、必ず記入して下さい。

【研修等区分】

- ・どちらか該当する方にチェックを入れて下さい。

【芸術分野】

- ・該当するものにチェックを入れて下さい。この分野以外の希望がありましたら具体的に記入して下さい。

【専門分野】

- ・芸術上の専門を細かい分類で書いて下さい。

【研修等実施機関名】

- ・受入先の機関（団体・学校名）を記入して下さい。

【研修等全体の資金計画】

- ・研修等に要する費用の収支の内訳を記入して下さい。具体的に金額が確定していないものはおよその額で記入して下さい。
- ・収入と支出の合計が一致するように記入してください。

【志望動機・ねらい】

- ・海外で学ぼうとした動機や今回の研修でどんなことにチャレンジしたいのかなど、具体的に記入して下さい。

【研修等のスケジュール・内容】

- ・研修等のスケジュール、内容について時系列に記入して下さい。
- ・コンクール等参加の場合は、コンクール等の具体的なスケジュールを記入して下さい。

【期待される成果】

- ・今回の研修等により期待される成果、今後の芸術活動にどのように活かしていくのかなど具体的に記入して下さい。

【学歴】

- ・高校以上の学歴について記入して下さい。

【芸術活動の履修歴、業績、受賞歴等】

- ・専門教育を受けた学校名や卒業、修了等の別と、その年月を記入して下さい。特定の師事者による個人レッスン等も記入して構いません。在学中、在籍中などの場合もその旨を記入して下さい。
- ・これまでに発表した主な作品や出演した舞台等の履歴及び芸術活動の成果による賞の受賞、奨学金の支給などの履歴を記入して下さい。集団で関わった場合には、役割や配役などがわかるようにして下さい。

【所属芸術団体等】

- ・現在所属している芸術団体（美術の会派団体や専門分野の団体等）の名称を記入して下さい。どの団体にも所属していない場合は「なし」と記入して下さい。

【語学習得の状況】

- ・4段階自己評価により該当する箇所にチェックし、英検等の資格がある場合は記入して下さい。英語以外に研修に必要と考えられる外国語は必ず記入して下さい。

【健康状態】

- ・既往歴がありましたら状況を記入してください。

申込書別添様式②「推薦書」

必ず、申請者の芸術活動を証明できる推薦者（所属するまたは所属した学校、団体等）自身が記入して下さい。推薦者は1名限りとします。推薦者氏名の他に、学校・団体名、職名（専門・役職名等）も記入し捺印して下さい。

外国語で記入された推薦書については、日本語の訳文を必ず添付して下さい（応募者本人による翻訳で可。捺印部は直筆サインで結構です。）

例)	〇〇大学
	教授 △△ △△ 印

申込書別添様式③「誓約書」

【保護者氏名】

- ・申請者が高校生又は18歳以下の場合、必ず保護者の方の住所、氏名を記入し、捺印して下さい。その際、それぞれの自著により署名し、印鑑もそれぞれ異なるものを捺印してください。本人の印鑑は、申請書と同じものを使用してください。

その他添付書類

【住民票の写し又は戸籍の附表等】

- ・本県市町村に住民基本台帳に登録され、現に居住すること又は本県に本籍を有し過去に10年以上居住したことがあることを証明できる書類

【受入先の承諾書等受入を証する書類及び日本語訳分】

- ・「受入承諾書」は、現地の受入を証明する重要な書類です。様式は任意です。
- ・下記の必要記載事項のとおり、「受入期間」「承諾の日付」「承諾者の名前」「捺印もしくはサイン」を満たした書類を提出して下さい。
- ・申請時点で「受入承諾書」がない場合は、「受入承諾状況説明書」を作成し、承諾書が得られていない理由及び今後の見通し（承諾書の受取時期）を具体的に記入して下さい。その場合でも、補助金交付決定日まで「受入承諾書」を直接文化企画・世界遺産推進課へ提出して下さい。
- ・「受入承諾書」は写しを提出して下さい。原本は申請者本人で保管して下さい。
- ・「受入承諾書」には、日本語の訳文を必ず添付して下さい。

（必要記載事項）

- | |
|---|
| <p>○受入期間（ 年 月 日～ 年 月 日）
※研修等期間を満たす期間を必ず明記すること。</p> <p>○承諾の日付</p> <p>○承諾者の名前、捺印（サイン）</p> |
|---|

【往復航空費の見積書】

- ・旅行業者等の発行する熊本と研修地の往復経路、航空費の記載された見積書を提出して下さい。

【その他、参考となる資料】

- ・芸術活動の実績や、活動状況が分かる写真、映像、音源等参考となる資料がありましたら、添付してください。

以下は、内示（補助採択）を受けた方が、必要な書類です。

別記第3号様式（第8条関係）「補助金交付申請書」

- ・1～4 別記第2号様式「内示通知書」に記載された内容をもとに記入して下さい。
- ・5 添付書類 ※当初提出した書類と同じ場合は、不要
同封の書類について、該当するものにチェックを入れて下さい。

別記第5号様式（第10条関係）「補助金変更申請書」

※研修等計画の主要部分の変更、補助対象経費の30%を超える変更など、当初申請した研修内容から変更があった場合に必要

- ・ 1～4 変更のあった箇所について記入して下さい。変更前も記入して下さい。(当初申請した内容より変更が無い場合は記入不要です。)
- ・ 5 変更理由
変更になった理由について簡潔に記入して下さい。
参考となる資料(研修先からの通知等)があれば添付して下さい。

別記第8号様式(第12条関係)「補助金実績報告書」

- ・ 1～4 研修の実績を記入して下さい。
- ・ 5 添付書類 同封の書類について、該当するものにチェックを入れて下さい。
- ・ 氏名には、申請書と同じ印鑑で捺印をしてください。
- ・ 住所の変更がある場合は任意様式で「住所変更届」を提出してください。こちらにも捺印をします。

実績報告書別添様式「研修等実施報告書」

- ・ 研修等の経過・内容
実施した研修等の経過及び内容等を具体的に記入して下さい。
- ・ 研修等の感想・成果・今後の予定
実施した研修等の感想や成果、今後の予定等について、具体的に記入して下さい。

別記第10号様式(第14条関係)「補助金交付請求書」

- ・ 1～4 別記第8号様式「実績報告書」のとおり記入して下さい。
- ・ 5 別記第9号様式「補助金交付確定通知書」に記載の金額を記入してください。
- ・ 6 補助金振込先
振込みを希望する金融機関名、口座番号等を記入して下さい。
ただし、口座名義人は本人名義のものに限ります。
- ・ 未成年者は、保護者名義の口座も可能ですが、その際、委任状の提出が必要となります。委任状の署名・印鑑は誓約書で使用したものと同一ものを使ってください。

別記第11号様式(第14条関係)「概算払申請書」

※特別な事情により事前に補助金(交付決定額の1/2を限度とする)の交付を請求する場合に必要。

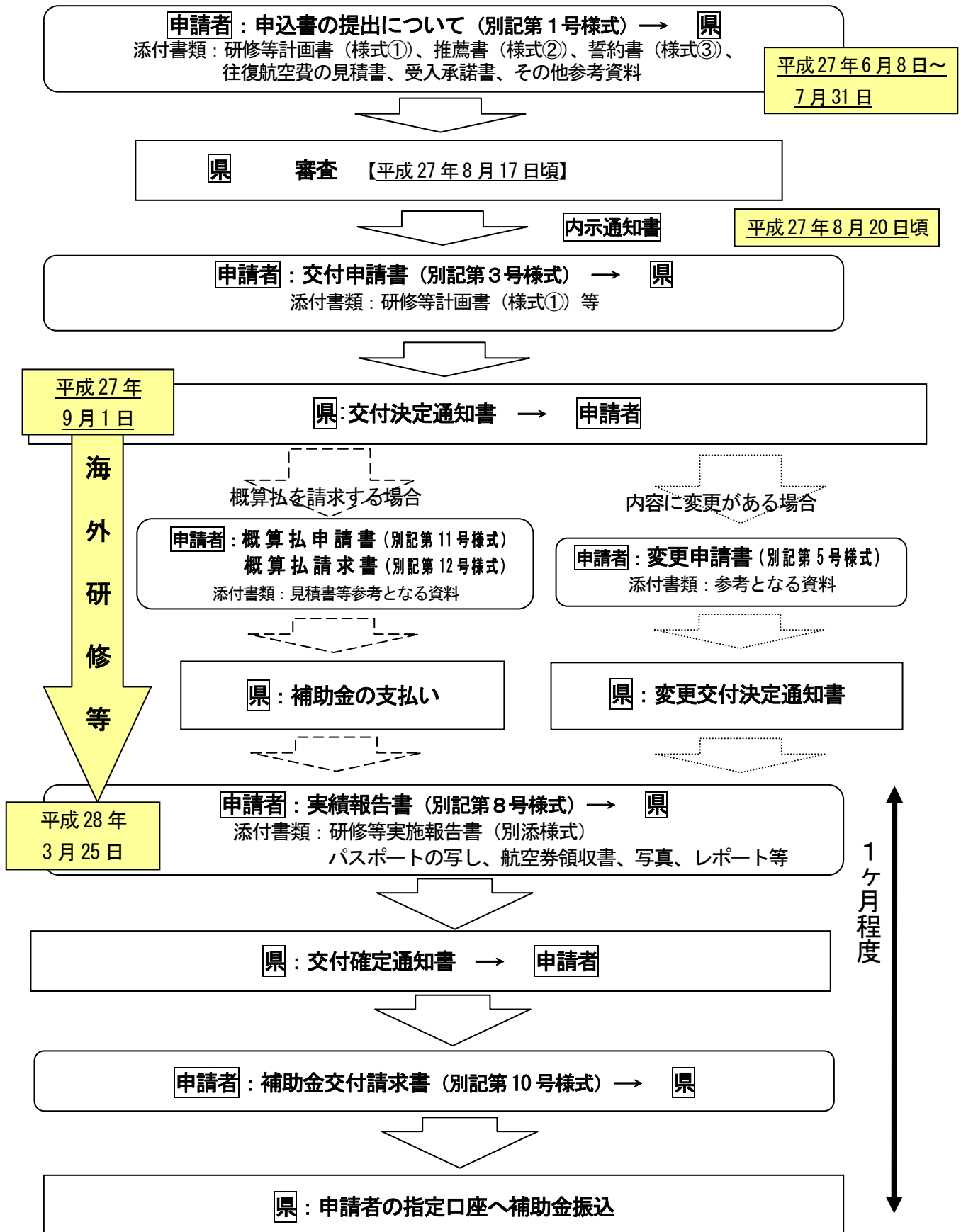
- ・ 概算払を必要とする理由
概算払が必要な理由を、具体的に記入して下さい。
見積もりの根拠となる資料を添付して下さい。※当初提出した書類と同じ場合は、不要です。

別記第12号様式(第14条関係)「補助金概算払請求書」

※別記第11号様式「概算払申請書」とともに提出

- ・ 6 補助金振込先
振込みを希望する金融機関名、口座番号等を記入して下さい。
ただし、口座名義人は本人名義のものに限ります。(未成年者は、保護者名義の口座も可能)

平成27年度くまもと若手芸術家海外チャレンジ事業の補助金交付までの流れ



本事業は、平成 25 年 3 月に創設した「熊本県世界チャレンジ支援基金」を活用しています。

熊本県世界チャレンジ支援基金とは

夢を持ち海外へ挑戦する若者を支援するため、官民出資により創設した基金です。この基金を活用し、海外への挑戦を積極的に後押しすることで、自らの手で将来を切り拓くことができるグローバルな人材を育て、熊本の将来の活力につなげていきます。

基金に寄附いただいた方々

尾家 亮 様
〔尾家産業(株)代表取締役会長
あさぎり町出身〕

 近経ファーム

熊本朝日放送

(社)熊本県自動車
証紙協会 様

熊本日日新聞

RKK 熊本放送

 求人案内

織戸酒造株式会社

高橋酒造株式会社

 鶴屋

 水の国くまもと TKU
応援プロジェクト進行中

 肥後銀行

NPO 法人日本インキ
ュベーションセン
ター熊本 様

 株式会社
わくわくコーポレーション

 早稲田スクール
WASEDA SCHOOL

出田実業 株式会社 様/伊藤歯科医院 様/有限会社 ウルトラハウス 様/株式会社 ABC 様/片山輝夫 税理士事務所 様/北里敏明 法律事務所 様/株式会社 九州開発エンジニアリング 様/株式会社 熊本銀行 様/熊本空港ビルディング 株式会社 様/一般財団法人 熊本市駐車場公社 様/熊本信用金庫 様/熊本第一信用金庫 様/熊本中央信用金庫 様/株式会社 県民百貨店 様/株式会社 コスギ不動産 様/サントリー酒類株式会社 九州熊本工場 様/一般社団法人 全国霊柩自動車協会 様/株式会社 富坂建設 様/富田薬品株式会社 様/林田 素行 様/安田 勲 様/山内 英治 様/山田 章平 様 他5名

(50 音順・平成 27 年 3 月 18 日現在)

詳しくは...

世界チャレンジ支援基金

検索

